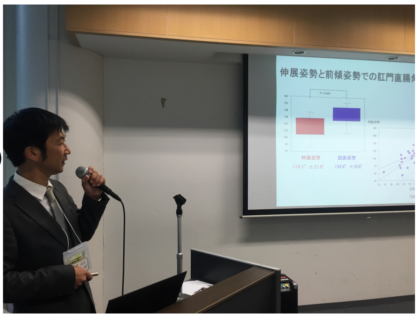
「排便と姿勢の関係」講習会

【概要】

排便機能の障害は、大きく便秘と便失禁に分けられます．また、近年は直腸脱の高齢女性が多くみられます．便秘の中でも排便困難を伴う場合は直腸性便秘であることが多く、排便の生理を理解し、理学療法士として運動学的なアプローチを行うことで症状の改善につながります．便失禁に関しては、外肛門括約筋に対する筋電図バイオフィードバック療法を行っていますが、骨盤底の適度な緊張を得るために姿勢を調整することが効果的な筋収縮を促します．本講習会では排便の生理と運動機能の関係を考え、運動学的なアプローチをご紹介します．



【講師】***槌野正裕***

（理学療法士　　大腸肛門病センター高野病院　 ロアッソ熊本）

＜最近の研究・執筆活動＞

排便造影検査における排便姿勢と肛門直腸角および疑似便の排出量に関する検討　日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌 31(2): 23-28, 2015.

排便時の骨盤底への影響-会陰部は姿勢の違いで変化する?-　 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌 30(1): 135-135, 2014.

理学療法士として「排便」について考えたことありますか？　理学療法学 39(suppl-3): 72-72, 2012.

排便姿勢が直腸肛門角と排出量に及ぼす影響　　日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌 28(1): 105-105, 2012.

その他多数！

【内容】

1． 排泄リハビリテーションとは
2． 便の生理（便の意義・役割）
3． 大腸・肛門の疾患
4． 消化器の機能と役割
5． 脊椎の発達について
6． 便秘（直腸圧と肛門内圧）
7． 便失禁（肛門内圧と姿勢）

【会場】フィジオセンター（東京メトロ日比谷線「神谷町」駅下車　徒歩 3 分）
http://www.physiocenter.jp/access/

【日時】2016 年 4 月 17 日（日）（9:30 受付開始）10:00 開始—16:00 終了（休憩含）

【対象】理学療法士有資格者＊現在臨床で排便に関するトラブルのある患者さんの介入に悩んでいる方

【定員】24 名

【講習形式】実技形式（経膣・経肛門触診は実施しません．触診を実施する場合は外的触診のみとなります）
＊モデル役及びセラピスト役を交互に担当いたします．講習中及び講習後の体調変化について、講師、主催者及びサポートスタッフは一切の責任は負いません．体力、体調及びその他心身に不安のある方はご遠慮ください．

【当日ご準備いただくもの】動きやすく、触診しやすいウェア、筆記用具

【受講料金】　10,800 円（税込）

＊お申し込みから 7 日以内に全額をお振込ください（お振込先はお申し込み完了時にメールでご連絡いたします）

＊振込時手数料はお申し込み者側負担となります

＊期日までに入金が確認できなかった場合はキャンセルとなります

＊キャンセル料：如何なる理由にかかわらず、受講確定後のキャンセルは下記料金が発生します．ご注意ください

ご入金—2 月 16 日： 5,400 円（残額ご返金時の手数料はご負担いただきます）

2 月 17 日以降：10,800 円

＊天災その他の事情により開催中止となった場合：

前日及び当日に中止が決定された場合—携帯電話番号へご連絡いたします

前々日よりも以前に中止が決定された場合—お申し込みいただいたメールへご連絡します

＊天災その他の事情による開催中止によって受講予定者が被る損害あるいは不利益については、講師、主催者及びサポートスタッフは一切の責任は負いません

【主催】Physiolink　　www.physiolink.jp

お問い合わせ先：course@physiolink.jp

＊お電話でのお問い合わせはご遠慮ください

＊ course@physiolink.jp のメールを受信可能かどうか、PC、スマートフォン及び携帯の設定を今一度ご確認ください＊yahoo メール、携帯キャリアメールの方は特にご注意下さい